あわら市議会だより

第38号
平成25年10月16日 発行

Contents

９月定例会報告・議会日誌……… 2p
委員会報告…… 3p
一般質問…… 5p
陳情・意見書……10p
議案と結果・討論……11p
報告会のお知らせ・ふるさと探訪 ‥12p

金津創作の森で行われた「蜷川実花展」は、７/２０～９/２９まで開かれ、過去最高の入場者で賑わいました。来場者は36,816人で、駐車場には県外ナンバーも多くみられました。

また、期間中９回行われた「ナイトミュージアム」では、若い女性を中心に多くの観客が来られ、魅力ある写真に見入っていました。

議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継　検索

9月定例会

平成25年度一般会計補正予算（第2号）

2億9,641万円を増額

総合防災訓練（吉崎小学校9月29日）

■一般会計予算総額は126億1,674万2千円に
■決算審査特別委員会を設置
委員長　山田重喜　副委員長　平野時夫
委　員　山本　篤、毛利純雄、吉田太一、森　之嗣、杉本隆洋、山川知一郎
■環境対策調査特別委員会を設置
委員長　三上　薫　副委員長　山田重喜
委　員　平野時夫、毛利純雄、吉田太一、山川知一郎、北島　登、東川継央
■市街地活性化調査特別委員会を設置
委員長　森　之嗣　副委員長　山本　篤
委　員　杉本隆洋、八木秀雄、向山信博、坪田正武、卯目ひろみ、山川　豊、杉田　剛

平成25年9月定例会が9月2日から20日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分に関する1議案及び健全化判断比率等の報告に関する2議案を受理しました。決算の認定10議案、補正予算に関する3議案、条例の制定及び改正に関する5議案、財産の取得に関する1議案の計22議案が上程され、決算の認定を除く9議案はすべて原案のとおり可決しました。決算の認定については、決算審査特別委員会において審査することから、継続審査となりました。

また、今回は10名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、陳情1件を採択とし、また、議員発議による意見書1件を可決しました。

議会日誌
おもな会議のみ掲載

7月8日　議会運営委員会
　　全員協議会
18日　総務文教常任委員会　管内視察
22日　厚生経済常任委員会　管内視察
29日　新議員研修
（以下7月30日、31日開催）
8月19日　厚生経済常任委員会　協議会
20日　総務文教常任委員会　協議会
　　議会活性化特別委員会
26日　議会運営委員会
27日　全員協議会
9月2日　第67回議会定例会　開会
9日　第67回議会定例会-一般質問
　　広報編集特別委員会
10日　総務文教常任委員会
11日　総務文教常任委員会
12日　厚生経済常任委員会
13日　厚生経済常任委員会
19日　議会運営委員会
20日　全員協議会
　　第67回議会定例会　閉会

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成25年度一般会計補正予算

■総務課

日中友好都市締結30周年記念事業500万円

委員 中国との関係が悪化している中で、式典を行う意義があるのか。

理事者 藤野厳九郎と魯迅の師弟愛から交流が始まった。このような時だからこそ、人と人との交流を大事にしたい。

藤野厳九郎と魯迅の像

■政策課

温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業9千475万円追加

事業内容
- 温泉街道路（市道田中々舟津線、芦原三国線）に石畳歩道設置
- 湯のまち駅南口駐車場整備
- ミニ公園（ポケットパーク）整備

委員 市道田中々舟津線の一方通行の社会実験について、アンケートを行っているが、回収率が8・1%と低く、民意を把握できるのか。

理事者 今後とも地元との意見調整は何度も行いたい。計画がこのまま進むとは思っていない。変更する場合は、再度議会に報告する。

一方通行　社会実験の様子

委員 ポケットパーク調査委託料で200万円の追加理由は。

理事者 花を飾る場所を1ヶ所から3ヶ所に変更したため調査設計費が100万円から300万円に増えた。

委員 計画が出来上がってから報告するのではなく、もっと議会の意見に耳を傾けるべきである。

■教育総務課

要保護及び準要保護援助費200万円追加

委員 要保護及び準要保護世帯をどのように審査しているのか。

理事者 申請があった時点で、市と学校で要綱に合致するかを調査し、なお且つ、地元の民生委員の意見も聞いて判断している。

■文化学習課

文化財保存修理等補助金250万円

委員 県指定文化財である本荘春日神社本殿の保存修復工事に250万円計上されているのはなぜか。

理事者 今までは、市指定文化財のみ、補修補助が上限50万円だったが、今回から補助金要綱を改正し、国、県、市の全ての指定文化財において補助上限を250万円とした。

あわら市職員の再任用に関する条例の制定

委員 今までは、退職した職員が公民館長等になっていたが、今後どうなるのか。また、再任用をすることで新採用や臨時職員を減らす方向で考えているのか。

理事者 今までは、59歳で退職勧奨していたが、今後は60歳の定年退職であるため、公民館等の職員として職を斡旋するような事は行わない。

この制度は、年金支給年齢が引き上げられるためにつくったが、再任用の職員が市の職員定数に入ってくるので、新採用数との関係が難しい。新採用職員は少しであっても採用すべきで、再任用のために新採用を減らすべきでないと考えている。

学校給食配送車の取得について

委員 配送車の入札にあたって、アルミ製荷台の仕様が業者指定となっていたが、明確な理由なしに業者を指定すべきではない。このような入札の在り方は、今後、改めるべきである。

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成25年度一般会計補正予算

■市民生活課

北潟湖水質浄化推進事業費7万円

委員 北潟湖水質改善研究会（仮称）の委員構成は。また、県からの補助はあるのか。

理事者 県からの補助金はない。研究会の委員は、学識経験者1名、市民9名の構成を考えている。

■子育て支援課

私立保育所・幼児園運営事業保育所職員処遇改善交付金事業等補助金1千440万円

委員 公立と私立との処遇の差があるのか。また、継続事業なのか。

理事者 公立と私立で差があり、更に私立の中でも差がある。事業の継続については、今年度のみと考えている。

■健康長寿課

老人福祉センター百寿苑代替施設改修工事費600万円

委員 5年を目途としているが、その理由は。また、方向性を見出すならば、2年以内に結論を出すべきではないか。

代替施設のよしの旅館

理事者 あわら温泉の旅館を暫定的に使用するための改修工事であり、施設を利用しながら新しい案を考える。二つの老人福祉センターが必要かとうかも検討し、関係者と相談しながら、2年程度で方向性が出せれば残りの3年で準備できる。

■農林水産課

鳥獣害防止総合対策事業補助金145万8千円

委員 防止柵はどの辺まで整備しているのか、また、センサーカメラ10基の監視場所はどこなのか。

理事者 防止柵は現在、剱岳、坪江地区で28km整備しており、今年度は笹岡地区、7・6kmを予定している。

カメラはイノシシにより柵を破られた箇所に設置し、行動を調査するものである。

■観光商工課

北陸新幹線開業対策事業委託料1千216万3千円

委員 プロモーションCM、ビデオはどこで放映するのか、また、美食フェア&食事会の内容はどうなっているのか。

理事者 プロモーションCM用は30秒程度であり、県外で行う商談会等で使用し、ビデオについては新設の足湯内で放映予定である。

美食フェアは、市の特産物でアピールできる料理を作り、首都圏を中心にPRすることが最大の狙いであり、旅行社、マスコミ関係者等の全国に発信力のある方を招待したいと考えている。

越前加賀宗教文化街道環境整備事業3千700万円

委員 加賀市と共同での一向一揆資料館（仮称）の整備は、以前、似た施設を手放した経緯もあり、集客が見込めるのか。建設予定地は県境であり、リスクが高いと感じる。また、加賀市の体制はどうなっているのか。

理事者 現在、JR芦原温泉駅周辺、温泉街、北潟湖周辺の3箇所の整備を進めており、その中で加賀市と連携し、県境周辺を整備する。

関東方面に発信できるものとして、県境ゆえにクローズアップされる観光資源力がある。効果があるように努力していく。

現在、加賀市の予算については調査費だけである。

■建設課

市道千束・赤尾線流末排水工事費500万円

委員 排水は農業排水でもあり、土地改良などの補助金等は使えなかったのか。

理事者 側溝の抜本的な改修ではないため、単独事業でお願いしたい。

委員 今からでも土地改良区と協議し県の補助を検討すべきである。

■上下水道課

合併浄化槽設置整備事業補助金343万9千円

委員 公共下水道事業で施工できないのか。

理事者 国道8号の規制の関係で縦断を認めてくれない状況であり、区民には合併浄化槽での理解をいただいている。

議案外

重要な案件については議会と相談しながら進めるべきという強い要請をしました。

市政について問う

9月の定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。（通告順）

■**吉田 太一 議員**
- ●学習環境の整備について

■**向山 信博 議員**
- ●鳥獣害に対する市の対応について

■**八木 秀雄 議員**
- ●子育て支援センターの0歳児利用状況について
- ●あわら市の観光振興計画の成果について
- ●温泉街に宿泊観光客が街歩きする対策はあるのか

■**山本 篤 議員**
- ●温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業における「ソフト事業」について
- ●まちづくり政策について
- ●2018年福井国体に向けた取り組みについて

■**坪田 正武 議員**
- ●学校給食センターの地産地消について
- ●乗合タクシーについて

■**毛利 純雄 議員**
- ●空き家対策について

■**平野 時夫 議員**
- ●がん検診受診率向上と予防対策について
- ●小型家電リサイクル推進について

■**卯目 ひろみ 議員**
- ●放課後子どもクラブの料金見直しについて
- ●歩道を含めた道路の維持管理について

■**山川 知一郎 議員**
- ●「社会保障改革」について
- ●市道瓜生・後山線の改修について
- ●鳥獣害対策について

■**三上 薫 議員**
- ●給食センターの運営について

吉田 太一 議員

学習環境の整備について

吉田 各小学校のグラウンドの状況は、砂利が浮き出るなど、危険な状態である。プールの改修も大切だが、使用頻度の高いグラウンド整備を優先させるべきではないか。

また、県内9市のうちで、エアコン設置の計画がないのはあわら市だけである。

猛暑等の異常気象が続く中、特に中学校は2学期制導入により、夏休みが短くなっている。一刻も早く対応すべきではないか。

教育長 グラウンド整備については、表面の土が流失や飛散により、路盤の砂利が出てきている箇所があります。その危険な箇所については、その都度、応急的な補修を実施しています。

9月補正予算で金津小学校のグラウンド改修の設計委託料を計上していますが、今後は他の学校についても現地調査を行った上で、危険な箇所及び排水関係については、部分補修又は全面的な改修を検討したいと考えています。

冷暖房機の設置計画については、体育館の天井落下防止対策工事、小学校の大規模改修工事、プールの改修工事、グラウンドの整備工事等の各学校施設整備に係る工事が控えている状況であることから、明確な設置計画は示せません。しかし、他の整備工事と調整し、平成27年度を目標に取りかかりたいと考えています。

まずは、夏休み期間中に補習や授業がある中学校から検討したいと考えています。

金津小学校グラウンド

向山 信博 議員

有害鳥獣に対する市の対応について

向山 これまで、電気柵や固定柵の設置、捕獲檻による捕獲など、対策を講じてきたが、ハクビシンやイノシシの農作物への被害範囲が近年拡大している。農業者の高齢化などで、地域での対応が益々困難な状況になっている。将来に向けて抜本的な対策を進めなければならないと思うがどうか。

経済産業部長 イノシシの農地への侵入を防止するために、金津東部地区鳥獣害対策協議会では、平成15年度から電気柵の設置、平成20年度からは、年間を通して侵入防止効果が高い金網固定柵による侵入防止柵の整備を進めており、平成24年度までに延べ28kmが整備されています。本年度からは、広域圏清掃センター周辺の山際約15・4kmを2ヶ年で整備することになっています。

しかし、固定柵を壊しての侵入のほか、公道や河川などの防ぎようのない箇所からの侵入又は侵入防止柵の未整備地区での被害が増加しています。

まずは、侵入されないようにするために、生ゴミや野菜くずの投棄、水稲の二番穂などの「餌付けになることをしないこと」、また、あぜ草や山際の草木を伐採して、見通しを良くするなど、「田畑に近づけさせないこと」を農業者や集落、地域ぐるみで取り組みが必要であると考えています。

このほか、今回の補正予算において、鳥獣害の行動を観察し、その行動パターンから捕獲対策の強化や侵入防止の効果を高めるためのセンサーカメラの導入に係る経費を計上しています。

今後は、国、県はもとより、関係機関、猟友会との連携をさらに強化し、被害の減少に努めたいと考えています。

イノシシ

八木 秀雄 議員

子育て支援センターを活用すべき

八木 育児の負担を軽くするため、特に0歳児の登録や利用を増やすように各種対策を講ずるべきと考えるがどうか。

市長 0歳児の平均登録数は、乳幼児全体の約5割に相当し、保育所に入所していない乳幼児のセンター利用率は高いといえます。

これは、乳幼児健診や離乳食教室に当センターの職員が出向いての説明や、地区公民館において出前式子育て支援センターを開設するなど、当センターのPRに努めてきた成果であると考えています。

今後とも当センターの機能強化に努め、満足度の高い施設運営を目指したいと考えています。

観光振興施策の成果は

八木 市総合振興計画の中に、重点施策で「多様な資源の魅力づけと連携」と掲げ様々な事業を行っているが、その成果は。

市長 地域再生を目指す市商工会及び旅館協同組合青年部や農業に従事する青年等が集結し、その成果として、あわら湯けむり創生塾が立ち上げられ、各種事業を展開しています。

その他、湯のまち広場、セントピアあわら、北潟湖周辺など、多様な資源を連携させ、それぞれの特性を生かした地域づくりに貢献する事業を実施してます。

観光客が街歩きする対策はあるのか

八木 観光客に街歩きを促すためのソフト事業は。

市長 今回の補正予算で、今話題の映画監督、田中光敏氏による地域が一体となったドラマ仕立てのプロモーションビデオを制作し、来年3月完成予定の足湯においてもその映像を上映するなど、観光客に対するまち歩きの魅力を誘発していきたいと考えています。

また、あわら温泉の価値を更に高めていくため、旅館協同組合等との連携を一層強化していきたいと考えています。

山本 篤 議員

温泉街のソフト事業の展開は

山本 ハード先行で、「温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり」事業を推し進めているが、国庫補助が見込めないソフト事業の展開について、財源や施策についてどう考えているのか。

市長 誘客につながるソフト事業を展開する上で、市民との連携は不可欠です。地域ごとの観光まちづくり推進会議や金津本陣まちづくりプラットフォーム会議を立ち上げ、地域資源活用等による協議を促しています。

次に、おもてなしの向上や観光ガイド育成といったソフト事業については、国・県による十分な補助事業は用意されていません。市費単独での実施も視野に、充実したソフト事業が展開できるよう努めます。

新たな機構改革が必要では

山本 北陸新幹線金沢駅開業に向け、観光誘致を行っているが、新たな観光資源を作っていく姿勢が見られず、将来を見据えた「まちづくり」政策を推し進めるために、新たな機構改革が必要なのではないか。

市長 観光協会の独立性の確保と新たな機構改革は、北陸新幹線金沢駅開業までは、現体制で対処すべきと考えています。しかしながら、長期的な取り組みはこれまで以上に重要度を増していくものと考えられ、国・県の動向や社会情勢を見極めながら適切に判断したいと考えています。

2018福井国体の準備は

山本 福井国体開催に向けた取り組みは。

市長 市民ボランティア養成の研修が必須であり、現在スポーツに親しんでいる、市体育施設利用者、各種スポーツ事業参加者を中心に、その輪を広げて行きたいと考えています。また、スポーツの輪を広げ、県の掲げる「1県民1スポーツ」の趣旨に沿い、あわら市においても「1市民1スポーツ」を目指します。

坪田 正武 議員

給食センターの地産地消について

坪田 食材となる米、野菜、果物等はどこから購入するのか。

教育部長 米については、公益財団法人福井県学校給食会から購入していきたいと考えています。学校給食会では、福井県経済連から各市町の地元産米を購入し、県内各市町の給食センターや学校へ納品しています。

また、野菜、果物等については、なるべく地元の食材を使用するよう注文書に産地を明記し、地元業者や農協などから見積を出してもらい、品目毎に価格が安い業者から購入していきたいと考えています。

乗合タクシーについて

坪田 市内タクシー業者5社に委託し運行しているが、配車について問題ないのか。

また、停留所の追加申請があった場合は対応してもらえるのか。

旅行者でも乗合タクシーを利用できるのか。

市民生活部理事 配車については、市内5社の事業者が保有しているタクシー車両台数に比例した頻度で、配車センターが振り分けることになっています。また、トラブルが無いように事業者とは随時連絡会を開催し情報交換を行っています。

停留所については、平成24年10月に見直しを行っており、市としてはこれをもって変更や追加は完了したものと考えています。

乗合タクシーは、あわら市民だけでなく誰でも登録して利用していただける制度となっています。登録申請書は、ホームページからもダウンロード出来るようになっており、郵送による申請や代理申請もできます。

今後、観光分野で乗合タクシーを活用するためには、制度の見直しが必要であり、今後の課題として検討したいと考えています。

乗合タクシー

毛利 純雄 議員

空き家対策について

毛利 少子高齢化、核家族化等、時代の変化により、空き家率が高くなり、近隣住民が倒壊、不審者の侵入や放火などの不安を抱いている。市民の安全安心のため、空き家の適正管理及び再生等に関し、どのように対応しているのか。

市内での空き家の総数、その中で管理が行き届いていない家屋がどれくらいあるのか。

区長等からの苦情・相談についてどの様に対応しているのか。

他市では条例を制定し対策に取り組んでいる。あわら市も以前、検討するとの事であったがどうなっているのか。

市長 空き家の総数は昨年9月の調査時点では、一般住宅で493戸あり、この内で再利用が困難と思われるものが95戸で、現在も増加傾向にあると思われます。

区長等からの苦情相談への対応は、原則として民民間の問題であり、苦情の申立者と所有者との間での解決をお願いしています。

しかし、極めて例外的に、空き家が今にも道路に倒壊しそうな状況で、かつ所有者がはっきりしている場合には、所有者に対し口頭で対処を依頼する場合もあります。

空き家の管理の適正化を図るための条例の制定についてですが、管理放棄された空き家の数の増加に伴い、地域において深刻な問題となっております。

市としても、先行する自治体が制定した条例を検討し、条例制定の準備を進めてきました。しかし、国においても(仮称)空き家対策特別措置法の制定に向け、法案が提出されるとの報道がありました。よって、この法律の制定を待ち、この法律に基づき、空き家の管理の適正化を図りたいと考えています。

空き家の例

平野 時夫 議員

がん健診受診率向上と予防対策について

平野 二人に一人はがんになる時代である。がん健診受診率向上のため、受診勧奨制度の継続と、大腸がん検診の検体を利用したピロリ菌検査を導入する考えはないのか。

市長 受診率を向上させるため、今後も坂井健康福祉センターと連携し、職域に対し受診勧奨を行い、企業へ出前健診を実施していきます。

また、受診勧奨制度の継続要望を県に対し行い、更なる受診率アップにつなげていきたいと考えています。

ピロリ菌検査については、現在国が「がん検診のあり方に関する検討会」において、有用性、安全性やコスト面などを考慮し、検討を進めるとしていますので、市としても国の経過を見極め、県と協議しながら検討していきたいと考えています。

小型家電リサイクルを推進すべき

平野 不燃ごみとして捨てられてしまう家電に使用されているレアメタルなどの有用金属資源の再利用と、ごみ減量化促進につなげるため、公共施設に専用改修ボックスを設置する考えはないのか。

市長 各地区において年一回金属製粗大ごみ回収を実施しています。本年度より、この機会を利用し、すべての使用済み小型家電機器等を対象に、金属製粗大ごみと分別して回収する予定です。

なお、回収ボックスの設置につきましては、本年度の回収の実績や他市の実施状況、実績を基に検討していきたいと考えています。

小型家電回収ボックスの例

卯目 ひろみ 議員

放課後子どもクラブの料金について

卯目 あわら市の放課後子どもクラブの利用料金が県内他市町と比べ高額である。今後、料金を見直す考えはないか。

教育部長 現在、あわら市の料金はおやつ代も含め月額8千円、夏休み中は1万2千500円です。県内の状況は、無料から、夏休み中の1万6千円まで、様々な設定でありますが、他市と比べ、確かに高めの設定になっています。

今後、市内全域が認定子ども園となる平成27年度を目標に料金改正を検討したいと考えています。

歩道を含めた道路の維持管理について

卯目 主要道路の草刈り、清掃、街路樹の剪定など年間を通してどのような考え方で管理しているのか。

街路樹の根により、歩道を浮き上がらせ、危険な箇所があるが、低木などに樹種を変更するなど、10年、20年先を考慮し、見直すべきではないか。

土木部長 車、歩行者の通行の安全を確保するため、主に年2回草刈等を行っています。更に、トリムマラソンなどのイベントに合わせて年3回行うこともあります。

市内には1千800本の街路樹があり、丁寧な管理には多額の予算が必要となります。今後も、景観に配慮しつつ、歩行者や一般車輌の通行にも支障が生じないよう、最少の経費で管理していきたいと考えています。

なお、市民の方に日ごろから愛着を持っていただき、協働により美化していくことも検討していきます。

街路樹が道路そのものを壊す箇所もあるため、状況を見極め、場合によっては街路樹を低木や草花に植え替えることも検討したいと思います。

街路樹により破損した歩道

山川 知一郎 議員

サービスを削り、負担を増やす「社会保障改革」に反対を

山川 知 国が今後3年間で行おうとしている「社会保障改革」は、介護保険関係で要支援者の介護保険からの切り離し、70~74歳の医療費窓口負担を2倍にする、年金についても支給開始年齢を引き上げる、というもので、「いつでも誰でも安心して医療や介護を受けられ、生活できる年金を」という多くの国民の願いを踏みにじるものである。

このような「社会保障改革」について、市長はどう考えるか。

また、介護保険の「改革」は、あわら市にとってどのような影響があるか。さらに、今後、介護予防施設がますます必要になるが、なぜ施設が増えないのか。

市長 少子高齢化が進む中で、「社会保障改革」は必要なことと思っています。また、そのための財源として、消費税の引き上げはやむを得ないと考えます。

介護サービスについては、現在の水準を維持していきたいと考えていますが、財政的に市の負担増とならないよう、国に求めていきます。

介護予防施設については、増えている空き家なども利用して、小学校区単位で設置したいと考えていますが、しっかりとした運営主体がなかなか見つからず、進んでいない状況で、今後とも努力したいと考えています。

市道瓜生・後山線の改修を

山川 知 市道瓜生・後山線は勾配がきついため、今まで何件も事故が起きており、積雪期には通行不能となる。早急に改修すべきではないか。

土木部長 財政的にすぐには困難であるが、事業費の試算を行い改修について検討したい。

市道瓜生・後山線

三上　薫　議員

給食センターの運営について

三上　地産地消を推進するため、学校給食センターの食材を直接農家から購入することは考えていないのか。

　また、国の規定において3歳児以上の幼児給食は外部搬入が認められている。

　新給食センターは、余剰能力が見込まれるため、市内の保育所や幼児園への給食提供は考えられないか。

教育部長　給食センターは食材を大量に仕入れるため、個人の農家が対応することは困難であると思われます。よって、農協などの販売業者から購入することが望ましいと考えています。

　給食センター機能の余剰能力についてですが、現在必要な給食数は、約2千700食であり、今後、児童、生徒数の減少も見込まれることから、供給能力である3千食と比較すると、一定の余剰が出てくるものと見込まれます。

　そこで、保育所や幼児園へも給食を提供できないかという提案ですが、そのことは、給食センター建設計画時に検討しました。しかし、保育所や幼児園では、乳幼児から幼稚園児までそれぞれの年齢に対応した給食、また、手作りのおやつなども提供していることから、園ごとに給食を作るほうが望ましいという結論に達し、給食計画から除外したものです。

　新給食センターは稼働前であり、まずは運営を軌道に乗せることに力を注ぎ、その後の課題として捉えていきたいと考えています。

建設中の学校給食センター

陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択を求める陳情

「要　旨」

　地方交付税は地方固有財源であり、国の政策方針のもとに一方的に決するべきでなく、国と地方の十分な協議を保障した上で、あり方や総額について決定する必要がある。

　公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、平成26年度の地方財政計画、地方交付税総額の拡大に向けて特段の対策を求める。

「提出者」自治労福井県本部　執行委員長　見世　重毅

「結　果」陳情を採択し、国へ意見書を提出

その他、要望書が提出されていますので、件名のみ掲載します。

●保育所・幼児園職員処遇改善に係る要望について

「提出者」

社会福祉法人ポプラ福祉会　伊井保育所
社会福祉法人さくら福祉会　細呂木保育所
社会福祉法人刈安福祉会　金津東保育所
社会福祉法人本荘すこやか福祉会　本荘幼児園
社会福祉法人アイリス福祉会　北潟幼児園

●桜ヶ丘区の公園整備について

「提出者」桜ヶ丘区　区長　山本　宣春

●あわら市老人福祉センターに関する要望書

「提出者」あわら市老人クラブ連合会　会長　八木敬一郎

老人福祉センター百寿苑

平成25年9月 第67回あわら市議会定例会　議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成　X…反対　ー…欠席等
※議長（笹原幸信）は採決に加わらないので「／」で表示

		議決結果	山本 篤	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	卯田ひろみ	山川 豊	東川 継央	杉田 剛
市長提出議案	平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度工業用水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度公共下水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度農業集落排水事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成25年度一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	X	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の再任用に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	債権の管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得について（学校給食配送車の取得）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	環境対策調査特別委員会の設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
	市街地活性化調査特別委員会の設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○

討　論　平成25年度一般会計補正予算

反対

「温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業」に9千475万円が計上されているが、観光振興を中心とした全体的なまちづくり計画が出来ていない中で、温泉街の道路を一方通行にして石畳の歩道をつくるなど、思いつき的なことをしても、誘客効果があるとは思えず、税金の無駄使いである。

　また、ワークショップは国の補助金を貰うために形だけのものであり、地元の理解も得られていない。

　「越前加賀宗教文化街道環境整備事業」は吉崎の加賀市との県境に、平成27年度までに、7千400万円をかけて一向一揆資料館（仮称）を建設するというが、何を展示するのかはこれから考えるというもので、展示内容も決まっていないのに、建物を先に建設するというのは本末転倒である。

　地元や加賀市とよく協議し、理解を得た上で展示内容を決定し、展示内容にふさわしい建物を建設することが順番ではないか。

　こんなやり方では、誘客効果も見込めず、税金の無駄使いである。

議会報告会を12会場で開催します

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。
いずれの会場でもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

日時	10月28日（月）19:30～21:00	10月29日（火）19:30～21:00	10月30日（水）19:30～21:00
会場	番田区民館	波松区民館	名泉郷会館
	本荘公民館	金津本陣IKOSSA（3階）	剱岳公民館
	中浜区民館	あわら市商工会 本所	伊井公民館
	細呂木公民館	北潟公民館	浜坂区民館

ふるさと探訪　「切通し」

あわら市細呂木から吉崎に向かう道（蓮如街道）と旧北陸道の分岐点に「のこぎり坂」という石碑が建っています。

1207年、承元の法難で越後への流罪となった親鸞が、越前の弟子と別れを惜しみ謡ったという「音に聞く　のこぎり坂の引き別れ、身の行く末は、心　ほそろぎ」という和歌を残したと伝えられています。

そこから吉崎に向かう道に、見事な「切通し」が現れます。1888年（明治21年）、天爵大神と名乗る尾張藩の家臣「水谷忠厚」が、細呂木村の長（おさ）「上坂家」を訪ね、村人と相談し、この、「のこぎり坂」のある鴫谷（しぎたに）山を切り通し、歩きやすい道にする事になりました。

わずか3ケ月で完成したこの「切通し」、蓮如さんの旧跡地「吉崎」を訪れるために作られたこの道には、多くの村人の思いが、今なおここに眠っているような気がします。（山本）

編集後記

今回の「議会だより」から、左記記載の市議会広報編集特別委員会のメンバーで今後2年間、8回発行いたします。

今回より新しい議員が新メンバーに入りましたので、従来とは多少違った構成等を取り入れながら編集できればと思います。

話は変わりますが、5年後には福井国体、7年後には東京オリンピックが開催されます。また、平成27年3月には北陸新幹線金沢駅開業と明るいニュースがあります。

当市においても新幹線金沢駅開業により今以上の集客を期待しています。議会としても行政と一体となって「おもてなし」を実践し、真心で活動したいと考えています。

これからの動向を「議会だより」でお知らせできるよう、編集して参ります。

（坪田）

編集・発行責任者
議長　笹原幸信

市議会広報編集特別委員会
委員長　坪田正武
副委員長　山川知一郎
委員　山本篤
〃　平野時夫
〃　毛利純雄
〃　山田重喜
〃　卯目ひろみ

発行　あわら市議会　　編集　あわら市議会広報編集特別委員会
◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。
〒919-0692　福井県あわら市市姫三丁目1番1号　あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045（直通）　E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

AWARA あわら市

PRINTED WITH SOY INK